



■キッズテニス大会 in SAITAMA 10th (2016.10.29) ■

キッズテニス大会 in SAITAMA

■もう？ やっと？ 10回目を迎えました

10月29日、節目の10回目となるキッズテニス大会を駒場体育館で開催しました。

毎年、公式大会等の日程の合間をぬって会場の確保をしていますが、今年は多くの学校で行事が行われている日になってしまい、やや参加者が少なくなっていました。

それでも100名を超えるエントリーがあり、熱戦が繰り広げられました。

浦スポでキッズテニスのプログラムを始めたのが2004年。それから3年目の2007年に県内の地域SCによびかけて実行委員会を立ち上げ、全国各地で教室を開催していたマナーキッズプロジェクトと連携して、マナー教室も取り入れて第1回を開催しました。試合前の挨拶や礼の実施は、現在でもしっかり受け継いで行っています。

試合の楽しさ、緊張感、対戦相手との交流など、いつもの練習とは違う体験を、エントリークラスでも経験できるようにと始めた大会ですが、この大会を目標にして、練習に励む子も少なくないらしく、機会提供の役割を果たしてこれたようです。

■テニスクリニックも実施

例年、大会と平行して、普及活動としての体験教室も同時開催してきました。

こちらは、完全に初心者用の教室体験プログラム。ラケットショップウィンザーさんの協力で、ヨネックスからのコーチの派遣も受け、浦スポのコーチ陣にとっても勉強になる良い機会となっています。



今回は、大会終了後に、大会参加者全員を対象としたクリニックも開催したところ、こちらでも大好評！

ボールを打つだけでなく、いろいろな体の動きの大切さを学ぶ良い機会となりました。



■する・ささえるの実践！！

これまでにも何度か紹介してきましたが、この大会の運営には、審判、記録、進行、受付、駐車場整理など、総勢50名前後のスタッフが必要です。

協会のような役員や登録制度はありませんが、いつもクラブでキッズテニスを教えてくださるコーチの他、テニス仲間の声かけで輪が広がり、毎年十分な体制で子ども達を受け入れることができます。

その運営は、年末に行われている全国大会に勝るとも劣らないとの高い評価をいただいています。

スポーツへの関わりは、する・観る・ささえるなど、様々な立場がありますが、自分たちがスポーツを楽しむだけではなく、時には、他の人のスポーツをささえる側になり、お互いに楽しむための場をつくりあげていく、このテニス大会のような素敵な関係が、もっと広がると良いなと思います。

キッズテニス大会は、そのための第1歩。ここに参加した子ども達が大きくなったら、今度は自分たちが支える側にもまわってくれるようになればと願ってやみません。



ささえるスポーツ

■さいたま国際マラソン 沿道整理に参加

11月13日(日)に開催された「さいたま国際マラソン」。今年度26,000人が参加した、国内でも最大級のマラソン大会です。スーパーアリーナをスタート・ゴール地点として、埼スタとの間、浦スポの主な活動範囲を横断するようなコースです。

この大会には、クラブから4名がボランティアスタッフとして参加しました。今年度の割り当ては、35km過ぎが一番苦しい時に現れる急なアップダウン、新浦和橋の給水所の真ん前。開始時の9時頃集合で、解散が15時過ぎ。制限時間6時間と緩和されたこともあり、先頭が通過してからおよそ4時間、お疲れさまでした!



■浦和区健康まつり 450人の体力測定!

11月6日(日)に、浦和駅前のコミュニティセンターを全館貸し切りで行われた「浦和区健康まつり」で。元気アップネットワークの方々と協力し、主催のアシスト21さんの健康体力測定コーナーを担当。

クラブから6名が参加し、来場者の、握力・脚筋力・椅子の座り立ち、上体起こし(腹筋)、片足開眼立ちなどを測定しました。また、貯筋の大切さを説明したリーフレットを配布し、貯筋運動の体験教室も実施する貯筋相談コーナーも開催しました。隣接するブースでは、体組成や血圧、血管年齢などの測定もしていました。

ブース受付でクラブが作成した記録カードをお渡ししたところ、全部で470枚ほど配布。

開始時から人が途切れることなく、お昼ご飯もままならない状態でしたが、たくさんの方に貯筋の大切さを伝えることもできました。



■その他の取組み

健康まつりのさらに2週間前、10月22日、23日は、それぞれ南筒公民館と領家公民館で貯筋相談コーナーを開設。こちらでも、各種測定と貯筋運動の体験教室を行いました。

地域の中で少しでも貯筋の大切さが伝わり、クラブの教室に参加される方が増えればいいなあと思います。



バドミントン!

■駒場体育館 バドミントン教室

日本人選手が国際的に活躍している影響か、ここ数年、バドミントン人口が増えているような気がします。

星空スポーツ広場も、中学生・高校生・家族連れといつもいっぱいです。

でも学校では、専門に教えてくださる指導者がなかなかいらっしゃらないということで、駒場体育館自主事業企画でバドミントン教室を定期的に開催しています。

今回は、11/10、17の二回にわたり実施。本太中・原山中・木崎中を中心に47名が参加しました。

講師は、全国私立高等学校バドミントン連盟委員長、日本体育協会公認バドミントン上級コーチの戸川力夫氏でした。

空のシャトルケース投げによる肘の回内・回外の練習を行い、腕の回転、体の回転や、その体の回転を使ったストロークの練習に取り組みました。



■星空スポーツ広場でも教室開催&家族デー

星空スポーツ広場でも、子どもから大人まで初級者を対象とした教室を、月2~3回シリーズで開催しています。

また、中高大学生が増えてきた中で、部活バリバリの雰囲気ではなく家族でも気軽に参加したいという声もあり、大人&家族デーも設けることとしました。

ただ、大人&家族デーの翌日の日曜日は、3面だけです。ゲーム中心デーをできるだけ設けるようにしています。必ずホームページで予定を確認してご参加ください。



ワークショップ“地域の宝さがし”

地域の保健医療政策の大幅な見直しが進められ、地域の住民自らによる健康づくりの取組みの重要性が、ますます高まっています。

健康にいきいき住み続けることができるよう、市民の健康づくりに深く関わる浦スポでも、このような取組みに参加しています。皆さんもぜひご参加ください。

日時：12月3日(日) 10時~

場所：ふれあいの里(針ヶ谷小隣)